

芦屋市におけるヤングケアラー支援にかかる取組

令和3年7月 芦屋市生活困窮者自立支援推進協議会提出資料

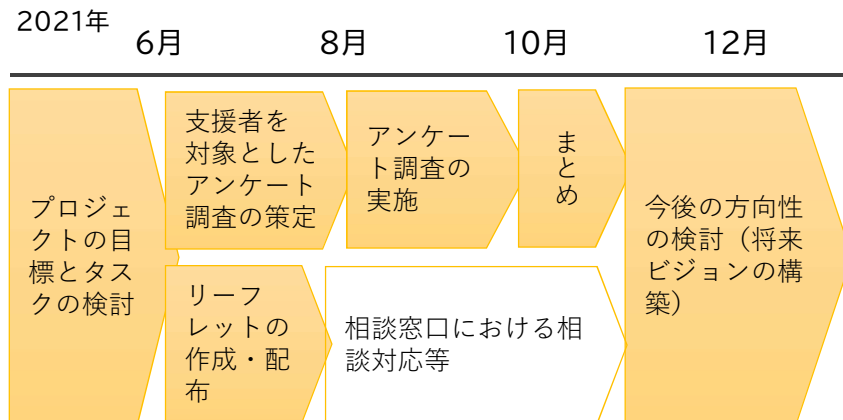
プロジェクトチーム発足の経緯

- 令和3年4月、兵庫県健康福祉部少子高齢局高齢政策課からの「兵庫県ケアラー実態調査」に市内の障がい者基幹相談支援センターや地域包括支援センターが回答
- 回答数は少数だったものの「ヤングケアラー」に該当する事例がまったくなかった
- 一方で生活困窮者自立支援相談機関では、これまでに対応した事例には複合的な生活課題を抱えた世帯が多く、ヤングケアラーを典型例として対応する専門機関が明確化されていないために福祉ニーズが潜在化している可能性があるという問題提起
- 昨今注目されるヤングケアラーの実態把握、介護者支援のあり方等を検討するために、関係機関でプロジェクトチームを発足

チームで掲げた当面の目標

- 「ヤングケアラーは潜在化している」という仮説のもとで実態把握を実施する
- 啓発ツールを作成し、暫定的に相談対応できる体制を整える
- 実態をもとにヤングケアラーに対する支援メニューを検討する

当面のスケジュール



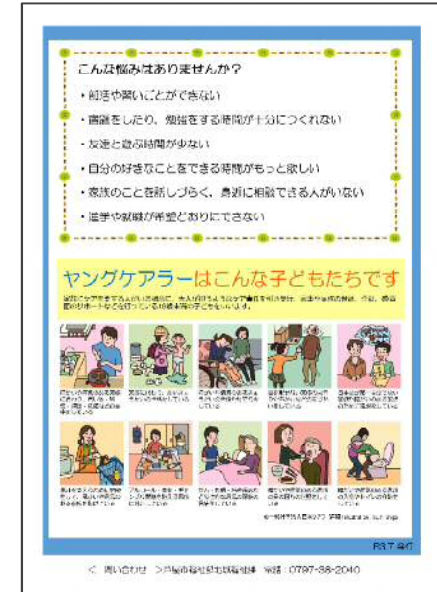
プロジェクトチームメンバー

三谷 百香	芦屋市生活困窮者自立相談支援機関
佐藤 久愛	芦屋市就労準備支援事業
三芳 学	芦屋市障がい者基幹相談支援センター
針山 大輔	芦屋市精道高齢者生活支援センター基幹的業務担当
吉川 里香	芦屋市 福祉部 地域福祉課
岡本 ちさと	
横道 紗知	

窓口を啓発用リーフレット(令和3年7月配布予定)



(表面)



(裏面)